【貿易関係証明発給システム】TSV インポート機能利用マニュアル

日本商工会議所　国際部
2025 年 6 月
システム Ver3.1.0 対応版

# 内容

１．概要 ..... 2
２．TSV ファイル（指定様式）について ..... 3
（１）TSV ファイルの作成 ..... 3
（２）TSV 定義書 ..... 3
（３）サンプルファイル ..... 3
３．TSV インポート機能の利用方法 ..... 4
（１）画面操作の流れ（単一申請） ..... 4
（２）画面操作の流れ（複数申請） ..... 8
４．その他の事項 ..... 12
（１）エクセルから作成する TSV ファイルの文字コード確認・変換方法 ..... 12

## １．概要

本機能は、原産地証明書（日本産・外国産）発給申請入力画面において、TSV ファイル（指定様式）の取り込みにより入力を行う機能です。

※ファイルの提出により申請が完了する機能ではありません。あくまで「TSV ファイルの内容を入力画面に反映する機能」となります。

## ２．TSV ファイル（指定様式）について

### （１）TSV ファイルの作成

本機能を利用するためには、TSV ファイル（指定様式）を作成いただく必要があります。
詳細は「TSV 定義書」、「サンプルファイル」をご参照ください。

### （２）TSV 定義書

以下より、ファイルをダウンロードしてください。
https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_teigi.xlsx

（TSV 定義書イメージ）

| | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | インポート形式名 | 発給申請 | | | |
| 2 | ファイル形式 | TSV形式<br>・ フィールド名の区切りはTAB<br>・ データの終了を改行とし、改行コードはCRLFを使用<br>・ 文字列を「"」で囲う場合はフィールド内の改行を許可する(フィールド内のTABは禁止) | | | |
| 3 | エンコード | UTF-8（BOM無し） | | | |
| 4 | 備考 | 発給申請のデータ<br>不要なフィールドは削除可。フィールド名の順番は順不同。フィールド名の名称が不一致する場合は無視する | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | フィールド名 | 種別 | 型 | デフォルト値 | 備考 |
| 7 | 開始フラグ | 見出 | 文字列 | | 見出データの開始時に「*(アスタリスク)」をつける<br>明細データが複数ある場合2行目以降は空欄とする<br>アスタリスクが付いたデータを見出データとしてインポートする。アスタリスクが付いていないデータは見出データとしては見なさず明細のみインポートする |
| 8 | 管理コード | 見出 | 文字列 | | 複数データを入力した場合に明細の見分けをつけるための番号(DBに登録されないため要注意) |
| 9 | 証明依頼書_記載産品の主な品目_コード | 見出 | 文字列(選択型) | | コード定義書に記載があるもののみ |
| 10 | 証明依頼書_記載産品の主な品目 | 見出 | 文字列(選択型) | | 選択肢にある物のみ。コードと名称がある場合コードを優先して本フィールドは無視される |
| 11 | 証明依頼書_仕向国_コード | 見出 | 文字列(選択型) | | ISO国コード(3桁)を入力→コード定義書に記載されている国コードのみ対応する |
| 12 | 証明依頼書_仕向国 | 見出 | 文字列(選択型) | | 選択肢にある物のみ。コードと名称がある場合コードを優先して本フィールドは無視される |

（注意事項）

・取り込み不要なフィールドは削除してご利用ください。
・フィールド名を参照して取り込むため、作成するファイルの列の並び順は任意です。
・外国産原産地証明書の場合、フィールド「原産地明細_原産国」は TSV 定義書の国一覧にある「国コード」または「国名_英文」と完全に一致している必要があります。

### （３）サンプルファイル

①TSV 形式
https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample.txt（2025 年 6 月 27 まで有効）
https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample1.txt（2025 年 6 月 30 日より有効）
②EXCEL 形式（加工後、TSV に変換してご利用ください）
https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample.xlsx（2025 年 6 月 27 まで有効）
https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample1.xlsx（2025 年 6 月 30 日より有効）

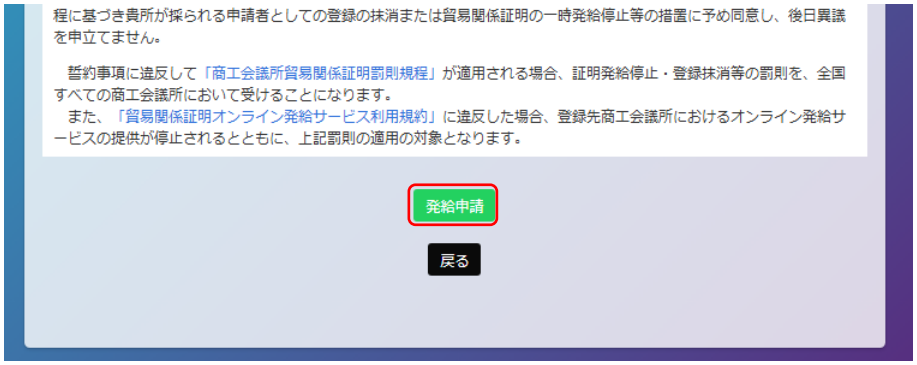
## 3．TSV インポート機能の利用方法

### （1）画面操作の流れ（単一申請）

システムにログインし、メインメニューの「発給申請」をクリック

「原産地証明書」をクリック

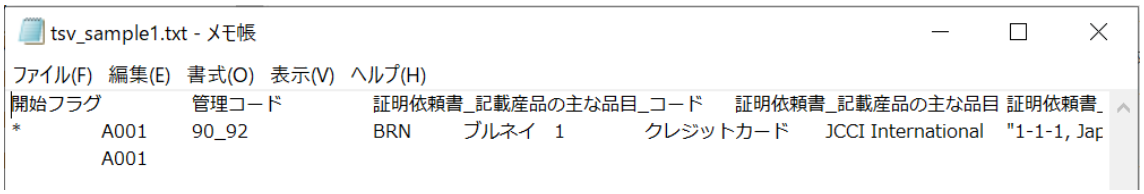
誓約事項をご確認いただき、「発給申請」をクリック



「TSV インポート」をクリック

予め作成しておいた TSV ファイルを選択し「開く」をクリック

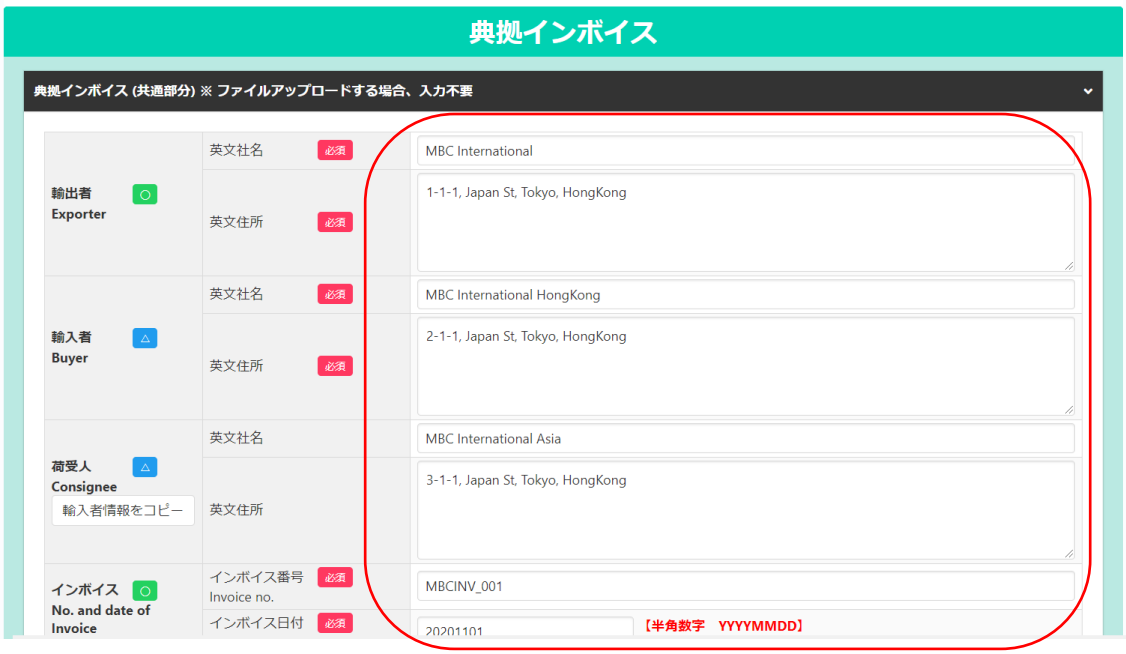
（sample1 ファイルの内容）



TSV ファイルの内容が画面に反映されます。

※インポートと同時に申請が完了するわけではありません。作成したファイルを試しにインポートして反映結果を確認いただくことも可能です。

典拠インボイス、原産地証明書の内容も同様に反映されます。

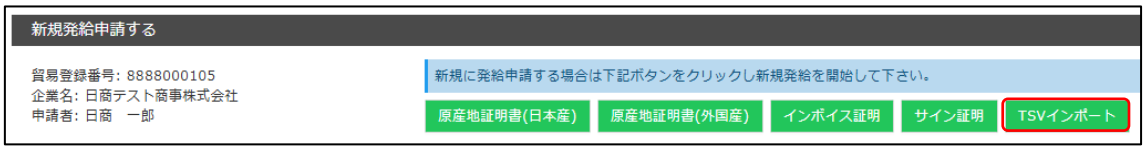


TSV 取り込み後、修正があれば入力内容を修正します。
問題なければ発給申請をクリックして申請が完了します。

（２）画面操作の流れ（複数申請）（2025 年 6 月 30 日より有効）

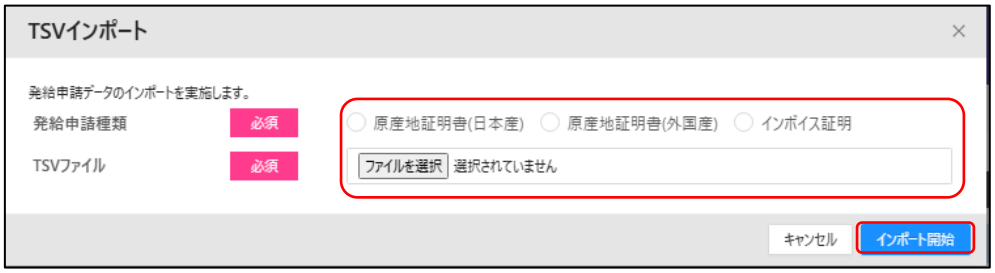
システムにログインし、メインメニューの「発給申請」をクリック

「TSV インポート」をクリック

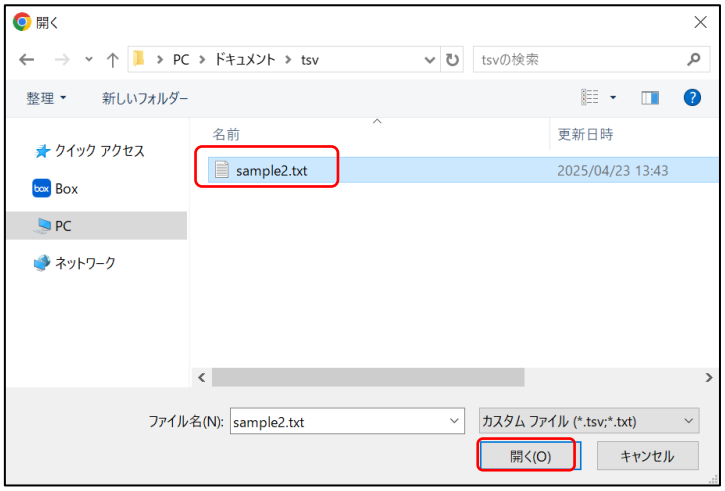



（複数申請をおこなう場合は、各申請画面ではなく、上記の発給申請一覧画面の「TSV インポート」ボタンをご利用ください）

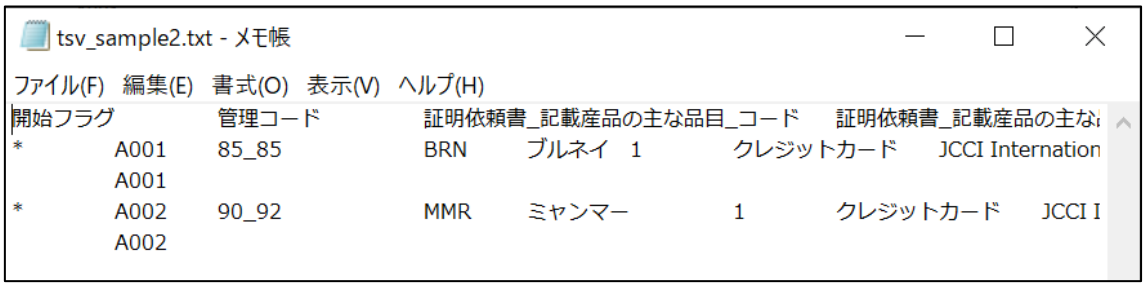
発給申請種類を選択し、「ファイルを選択」から TSV ファイルとしてアップロードするファイルを指定し、「インポート開始」ボタンをクリック



予め作成しておいた TSV ファイルを選択し「開く」をクリック




（sample2 ファイルの内容）




（上記のように明細行の頭に開始フラグ「＊」を複数セットし、複数の申請内容を一度に取り込むことができます。）

① TSV 形式

https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample2.txt

② EXCEL 形式（加工後、TSV に変換してご利用ください）

https://www.jcci.or.jp/boeki/sys/tsv_sample2.xlsx

ファイルの取込みが完了すると、下記のように表示されます。

「インポートしたデータを表示」ボタンをクリック

下記のとおり保存された旨の申請状況一覧画面が表示されます。

受付番号をクリックすると各申請画面が表示されます。

「修正」ボタンをクリック

「発給申請」ボタンをクリックすると申請が完了します。
（発給申請ボタンは申請画面内の右上、および最下部に表示されます。）

## ４．その他の事項

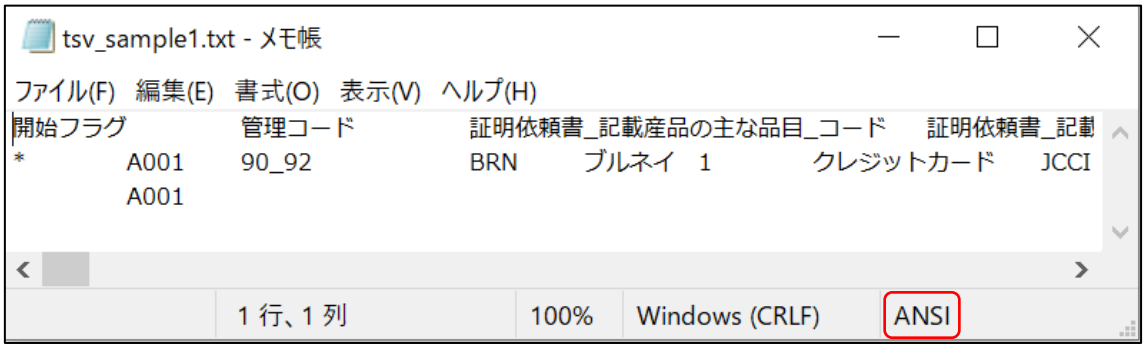
### （１）エクセルから作成する TSV ファイルの文字コード確認・変換方法

TSV ファイルを作成後、文字コードが UTF-8 とならない場合は変換作業が必要です。
エクセルで TSV ファイルの元データを作成します。

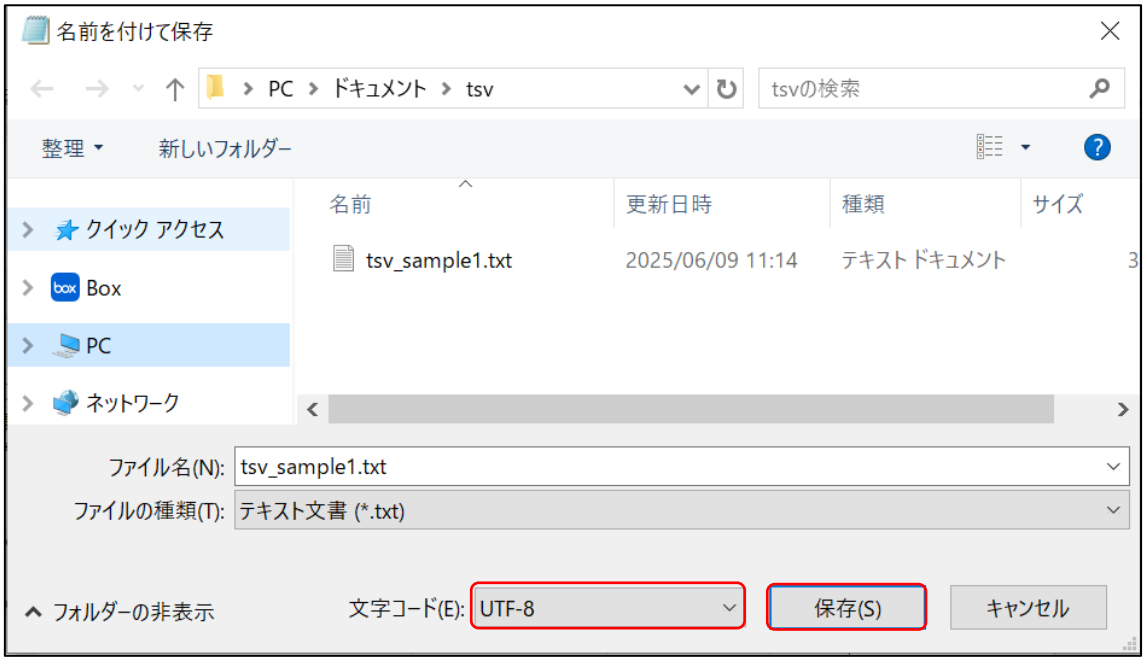
| | A | B | C | D | E | F |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 開始フラグ | 管理コード | 証明依頼書_記載産品の主な品目_コード | 証明依頼書_記載産品の主な品目 | 証明依頼書_仕向国_コード | 証明依頼書_仕向国 |
| 2 | * | A001 | 90_92 | | BRN | ブルネイ |
| 3 | | A001 | | | | |

ファイルの種類「テキスト（タブ区切り）」で保存します（TSV 形式で保存されます）

ファイルをメモ帳（notepad）で開き、右下に表示されている文字コードを確認します。
UTF-8 以外の場合、変換が必要です。



「名前を付けて保存」の画面内で文字コードをクリックし、「UTF-8」を選択して保存をクリックします。※UTF-8（BOM 付き）では取り込みができませんので、ご注意ください。




文字コードが変換されました。